

第15回「町家の雛めぐり」と「壺阪寺大雛曼荼羅」の開催について

令和3年1月
天の川実行委員会

平成19年3月より一ヶ月間開催しております「町家の雛めぐり」は、作年の3月第14回目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催を中止いたしました。

現在奈良県では新型コロナウイルス感染症に伴う観光客の減少により、本県の観光産業が大きな影響を受けていることから、県民の皆さんに地元の新たな観光の魅力を再発見してもらい、さらに、観光消費の拡大を図ることを目的とする「いまなら。キャンペーン（地元観光）」を実施しています。

今年3月「第15回町家の雛めぐり」は、節目の15回目を迎えます。まだまだ新型コロナウイルス感染拡大リスクはありますが、奈良県内の地元の皆さまを対象とした地元観光（マイクロツーリズム）を実施してまいります。地元観光とは3密を避けて地元のヒトが近場で過ごすスタイルのことを意味します。自宅から15分～1時間程の距離で、県境をまたぐ移動ではなく、地元で安心、安全に楽しく地元・地域で過ごすスタイルです。

イベントの実施地域も、従来は高取町大字観覚寺から下土佐～上土佐～下子島～上子島～清水谷と土佐街道沿いの家々にご参加いただき雛人形を飾っていただきましたが、新型コロナウイルス感染拡大が終息するまでは、大字観覚寺～下土佐～上土佐に限定して、コンパクトな雛めぐりを実施してまいりたいと考えております。また、マスク着用の確認を行い不携帯の観光客にはマスクを配布する、そしてメイン会場やトイレの入り口では手指消毒の徹底を図るなどの感染防止を行ってまいります

また、壺阪寺は日本最大級「大雛曼荼羅～本尊十一面千手観世音菩薩と2500体の雛～」が公開されます。（3月1日～4月18日）